

2018 年度

点検・評価報告書
－アセスメント結果の概要－

経済学研究科

経済学研究科

経済学研究科は、本研究科の特徴を踏まえ、以下のような内部質保証システムの強化に取り組みます。

1. アセスメント・ポリシー／プランに基づいた学習成果の測定及び可視化を推進

昨年度策定したアセスメント・ポリシー／プランに基づきさらにその構成を吟味し、学習成果の測定及び可視化を推進するよう努力してきました。また、その結果について点検・評価を行い、教育改善につなげるサイクルを構築することを目指します。

経済学研究科アセスメント・プラン

アセスメント項目 (ディプロマポリシー等)	アセスメント指標	学習成果の測定と 可視化の取組み
先端的理論や実証的研究を通じて、複雑な経済・経営問題に取り組む力を持った人材。	<p><前期課程></p> <ul style="list-style-type: none"> 修士論文およびリサーチペーパー（RP）中間発表会（公開）の評価 修士論文およびRPの評価 <p><後期課程></p> <ul style="list-style-type: none"> 学術雑誌への論文掲載、および学術学会での発表。 	<p><前期課程></p> <ul style="list-style-type: none"> ルーブリックを用いた評価 <p><後期課程></p> <ul style="list-style-type: none"> 論文掲載本数と回数、内容の評価
語学能力に優れ、異文化への理解力を培った国際競争力をもつ人材。	<p><前期課程></p> <ul style="list-style-type: none"> 入学試験による語学力の判定と卒業時の英語スコア・日本語能力試験資格（JLPT） 修士論文およびRPの中間発表会（公開）の評価 インターンシップの参加の評価 論文およびRP審査の口頭試問（最終 Semester） 外国人学生の日本語/英語による論文作成 <p><後期課程></p> <ul style="list-style-type: none"> 特に海外の学術学会での発表（随時） 学術雑誌への論文掲載、および学術学会での発表。その本数と回数、内容の評価 	<p><前期課程></p> <ul style="list-style-type: none"> TOEFL・TOEICのスコア 日本語能力試験（JLPT） ルーブリックを用いた評価 インターンシップの報告書の作成と報告会の開催 主査・副査によるルーブリックを用いた評価 <p><後期課程></p> <ul style="list-style-type: none"> 発表論文リストの作成 発表学術会議と発表タイトルのリストの作成
最先端の学問修得を第一義に、独創的な解決方途を見出す専門能力を持った人材。	<p><前期課程></p> <ul style="list-style-type: none"> 修士論文およびRP（2年次後期） <p><後期課程></p> <ul style="list-style-type: none"> 学術雑誌への論文掲載、および学術学会での発表（随時） 	<p><前期課程></p> <ul style="list-style-type: none"> ルーブリックを用いた評価 <p><後期課程></p> <ul style="list-style-type: none"> 発表論文リストの作成 発表学術会議と発表タイトルのリストの作成
その他、（カリキ	Semester終了時、課程修了時アンケートの実	アンケートをもとにカリキュ

ュラム、講義に関する学生評価)	施	ラム、学修・研究指導の改善
-----------------	---	---------------

2. 学生参加型の内部質保証体制の推進について

昨年度の全学自己点検・評価委員会において、現在の内部質保証の体制に、学生参加の要素を取り入れることが承認されました。経済学研究科として、可能なところから学生代表を加えて評価分科会を行い、学生の意見を取り入れる仕組みを構築します。

(1) 研究科自己点検委員会では、以下の案が出され、実施につなげてゆく予定です。

- ① セメスター終了時の授業アンケートの実施(すでに実施済み)とその内容の検証とレスポンスを作成するとともに、授業アンケートと教員のレスポンスをもとに学生代表との意見交換会を設ける。
- ② 課程修了時におけるアンケートの実施とその内容をもとに、カリキュラム、研究指導体制の改善へと結び付ける。

(2) 実施した改善事項

- ① リサーチ・ペーパー (RP) の作成準備を早めにスタートすることを促すため、国際ビジネス専修における研究計画提出、中間報告会の開催スケジュールを以下のように変更した(2019年から実施)。

第3セメスター11月に RP 指導教員の決定と研究計画書提出

第4セメスター5月上旬に修士論文および RP の中間発表会 (公開) の開催

- ③ 国際ビジネス専修のカリキュラムを以下のように変更した(2019年度から実施)。

- ・ 国際ビジネス専修においても「修士論文」(Master Thesis)を選択できることとした。それに伴い、修士論文指導 I(Supervised Master Thesis I)と修士論文指導 II(Supervised Master Thesis II)を新設した

- ・ 選択必修科目「Micro Economics」「Macro Economics」を廃止し、代わりに Principle of Business Economics」を新設した。

これらの改善は、いずれも本専修履修の学生のアンケートと担当教員の意見をもとに導入した。